

事務事業名		総合相談事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	地域支援事業係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 介護保険サービスの充実と介護予防の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	20204	介護保険事業特別会計(保険事業勘定)	4	2	2	総合相談事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H18年度～ 年度		根拠法令 条例等	介護保険法				
						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
						任意的事業・義務的事業		義務的事業		
						実施方法		直営		
					事業分類		相談事業			
					リーディングプロジェクト		該当なし			
					市長マニフェスト		2-9			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。			総合相談業務を市内の4箇所の地域包括支援センターに委託し、各センターでは、高齢者の心身の状況等を把握し、適切なサービスにつなげていった。市は、困難事例などについて、地域包括支援センターに対し、助言等を行い、連携して業務にあたった。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			地域のネットワークの構築活動数	回	321	403	450			
			高齢者に関する相談件数	件	6,650	8,617	7,500			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市内に住所を有する65歳以上の高齢者及び家族等			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			65歳以上の高齢者数	人	31,140	32,079	32,980			
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			高齢者に関する相談件数	件	6,650	8,617	7,500			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
要介護状態にならないようにする。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			一次予防事業対象者の介護予防事業参加者数	人	4,902	5,105	5,900			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	10,765	10,540	11,718					
	県支出金	千円	5,383	5,270	5,859					
	地方債	千円								
	その他	千円	5,383	5,270	5,859					
	一般会計	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	5,724	5,603	6,611					
	事業費計(A)	千円	27,255	26,683	30,047	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			業務委託料	27,255	業務委託料	26,683	報償金	30		
							消耗品費	24		
						業務委託料	29,993			
人件費	人	4	4	4	4	4				
のべ業務時間	時間	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500				
人件費計(B)	千円	5,837	5,912	5,912	5,912	5,912				
トータルコスト(A)+(B)	千円	33,092	32,595	35,959	5,912	5,912				

事務事業名	総合相談事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	地域支援事業係
-------	--------	-----	-------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年4月に介護保険法が改正され、介護予防重視型システムに転換されたことにより開始された事業である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年4月に介護保険法が改正され、高齢者が住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるように、総合相談を受ける中核機関として、市の責任において地域包括支援センターを設置している。平成22年度から、より身近な相談機関として充実させるため、2カ所から4カ所に分割増設した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会の一般質問や特別委員会にて、地域支援事業や地域包括支援センターについての質問があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
やり方改善(成果向上の見直し)	地域包括支援センターの周知を図ることで、成果を向上させることができると考える。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと自分らしい生活ができるように支援することは、市の政策体系に合致している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	介護保険法に基づき、市が保険者として実施するものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	介護保険法に基づき実施するものであり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	年々相談件数も伸びてきており、地域包括支援センターについての周知は、だいぶ図られてきたと考えられる。しかし、表に出てこない困難事例はたくさんあると考えられ、一層の周知を図る必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	包括的支援事業の事業・人件費は効果的に執行しているので削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	包括的支援事業は、公費の外に、介護保険料(相談の対象者は被保険者である)を充当しており、適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	介護保険法で定められているため、法の改正が必要である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
やり方改善(成果向上の見直し)(有効性④の結果) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①相談や対応が必要な高齢者はまだまだ多いと考えられるので、地域包括支援センターの役割や機能について一層の周知を図っていく。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下	×	×	・地域包括支援センターについて知らない人が多いので、包括職員等に、町会や老人クラブ等の集まりに出席し、周知してもらう必要がある。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	